

徳

南

晴

一

郎

復刻版

怪談



併録「猫の喪服」

入内時計



QJマンガ通書

06

徳
南
晴
一
郎

怪談
人間時計

併録「猫の喪服」



怪談

人間時計

併録「猫の喪服」
徳南晴一郎



9784872333138

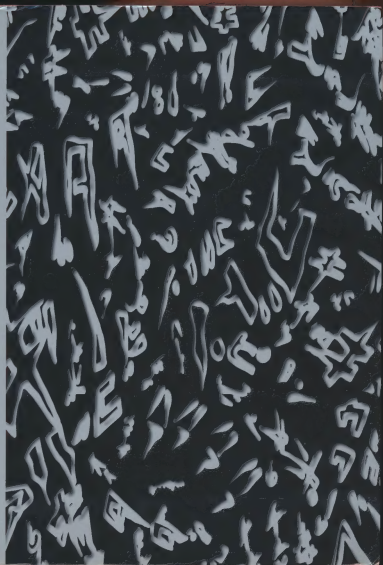


1920079014007



太田出版





怪談

怪談人間時計

徳南晴一郎



太田出版

- 253 宇野浩二「人」の時間的意識とその表現形式について
- 254 山崎健太郎「人」の時間的意識とその表現形式について
- 255 山崎健太郎「人」の時間的意識とその表現形式について
- 256 山崎健太郎「人」の時間的意識とその表現形式について
- 257 山崎健太郎「人」の時間的意識とその表現形式について

解説

- 89 宇野浩二「人」の時間的意識とその表現形式について
- 1 宇野浩二「人」の時間的意識とその表現形式について

怪談

怪談 人間時計

徳南晴一郎
併録「種の実験」

太田出版



肉体は

すなわち

時計であり

新しい

乳母は

時計師であ

る

人間は機械

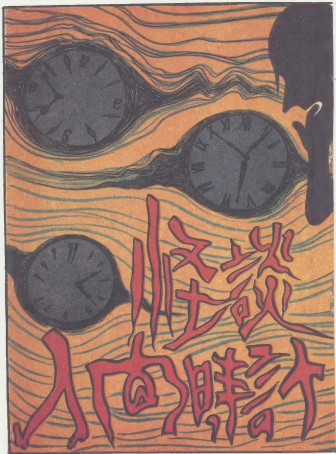
にすぎ

ならぬさ！

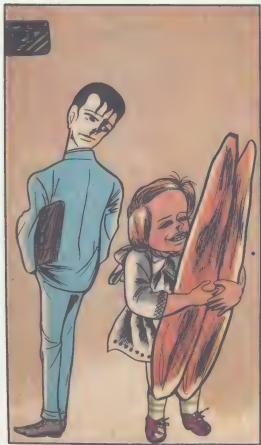
ラ・メトリー



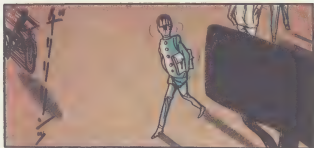








パパ僕の時計^{とけい}どうして三時間^{さんじかん}進むの



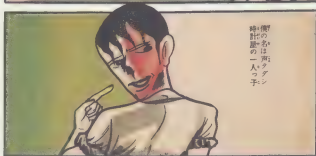
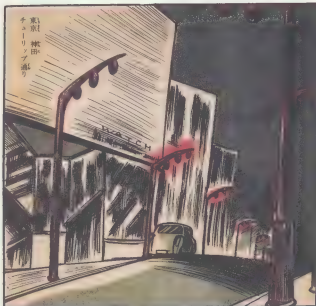
僕はそのときいろいろ　そう

その直後におこったこといろいろ

人間ざらいになって

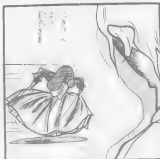
しまったのだ



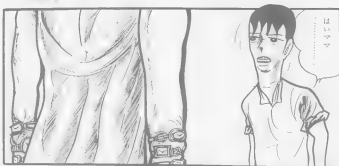




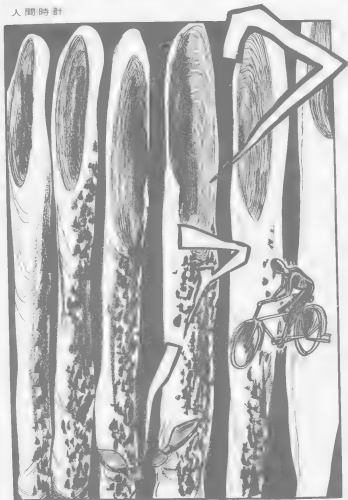




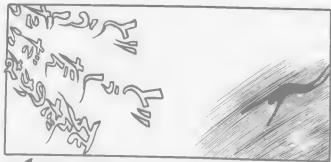




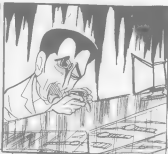


















わがままな戦慄^{せんりつ}

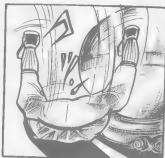
ササの
涙はそうなの
であった





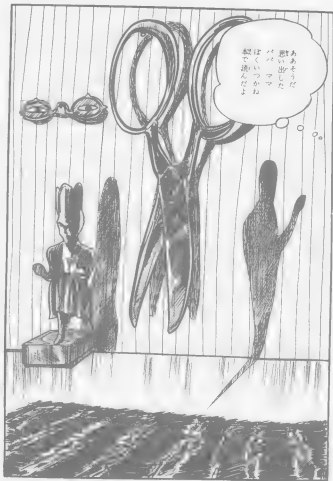


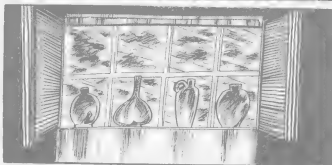
















it perched upon its
 nose:
 Housekeeper, made
 a door. August 22 I
 above, Magdalenine,
 and we made it into
 we read many books
 of city dwellers who
 country, books that
 reviews and annoy-
 y living, books that
 ple moving back to
 on of the city. I can
 nose of these dif-
 ferences. The house-
 thing we give it. It
 on, warm, and com-









家庭教師の絶叫



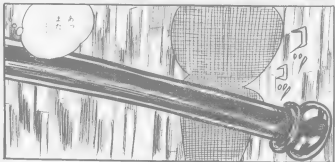
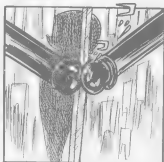


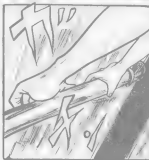




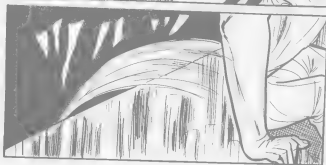


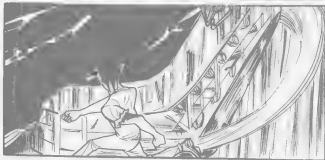






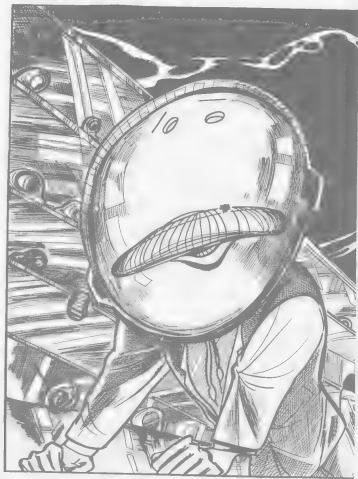


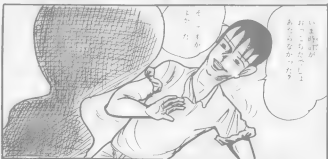
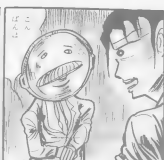




あれっ
そこんどこに
いるのですね
か。
あなた だれ？





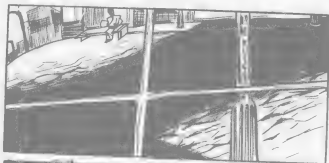




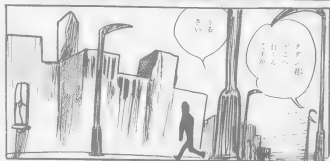
別世界は恐怖でいっぱい！

声時社店の店員を
つのもため
タダシの親友が
「求人旅行」に
でかけたのは
ちようじんそれから
一か月あとのこと
である



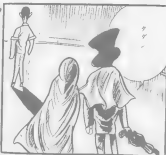






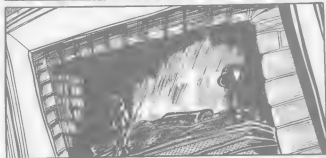




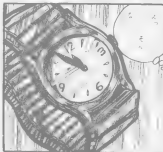




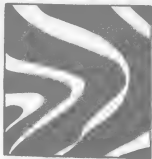
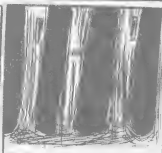
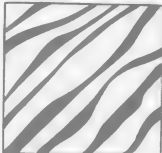


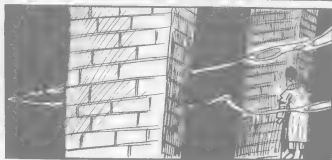
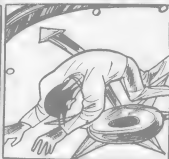


















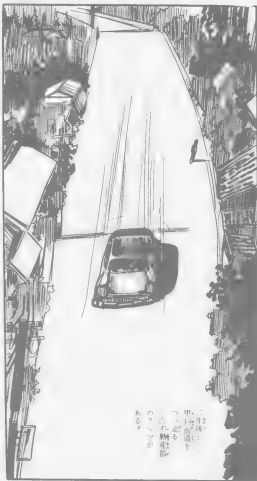
たすけて
くれーっ



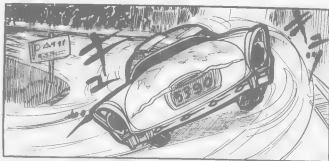


終^{しゆう}

章^{しやう}



「一年後、
甲子園街道を
つらぬく
は、新電
のクルマが
ある」





パパやママは知らないのだ……

僕がかかえている秘密を……先生が

くれた時計を腕にまめるたびに

氣を失い……夢幻の別世界 恐ろしい

時計人間の国をさまよう魔力に

僕がすっかりとりつかれていることを

それがもう二年もつづいてるのだ……





僕が高校を合格したって？

とんでもない 何もかもあの先生の

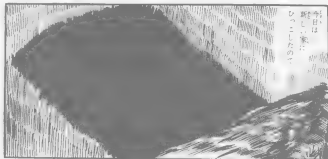
魔力のおかげなのだ……

あの男がまざれもない時計人間で

あることをもつと早く

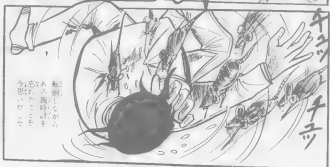
気がつくべきだった……

それに僕だって…… ああ、











世にも善良な両親が
そこらへんではノ
古い柱時計の
こっけいな、つ
現物だけだった



パパ ママおどろかないでね 僕の内臓はもう一年

も前から蕎麦やゼンマイにとって変わっていたんです

THE HISTORY OF THE

THE HISTORY OF THE

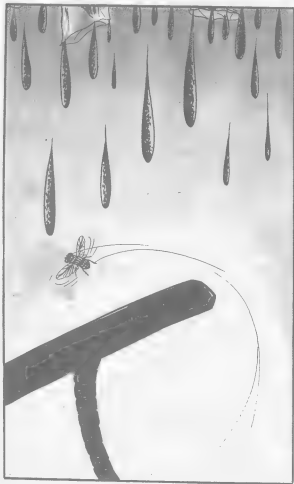


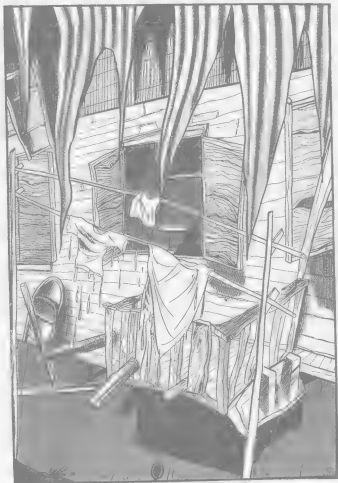
THE HISTORY OF THE

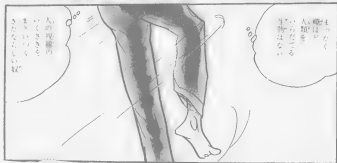


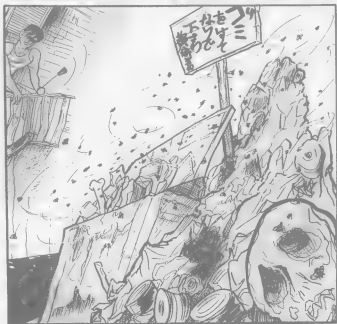
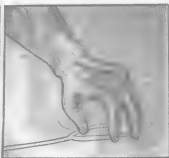
PRO
異色怪談 1

蠅の亡霊はどうして片眼なのだろう





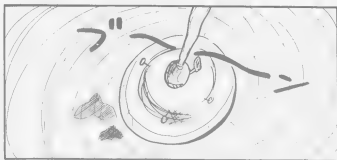




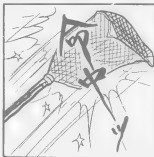
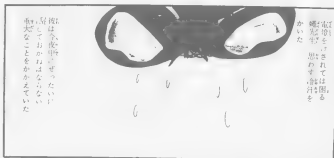


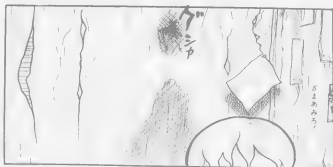




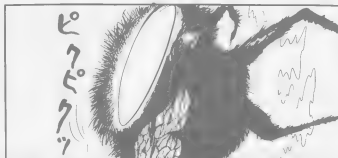


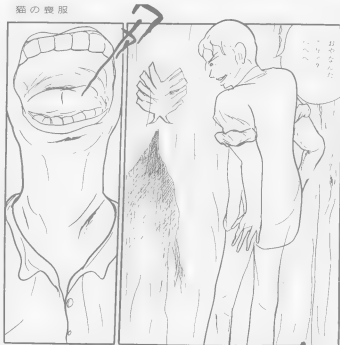


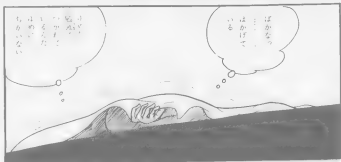


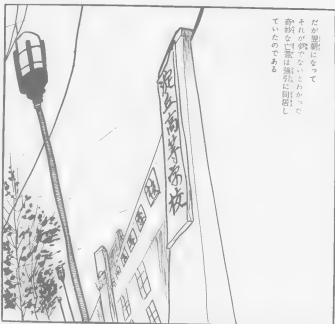












だが翌朝になって
それが夢でないことがわかった
奇蹟な「雲」は強引に同居し
ていたのである



小麻八雲
ラフカディオ
ハ、ハ、ハ
そうした
日記の地味
などに、

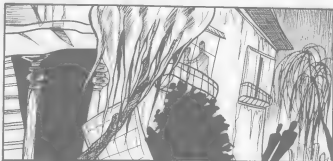
ヒントをえて
「エエ」
「怪談」をかき
あらわしたんだっか
このムジナをはじめ

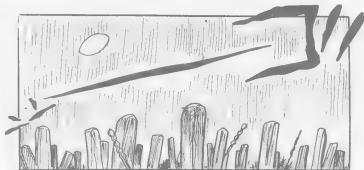
隣に越してきた尼僧キリ子







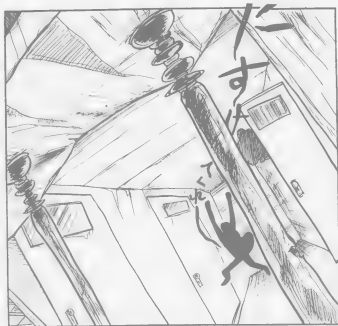


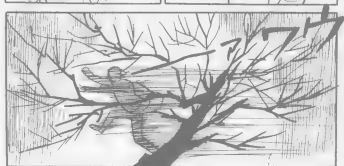


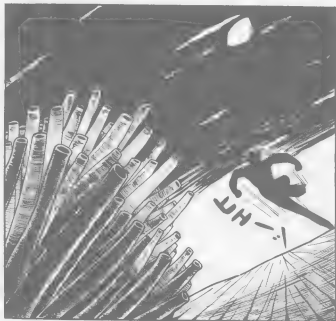






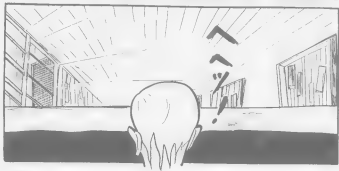




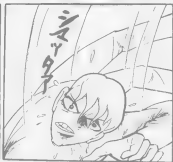


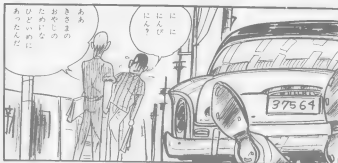














内時
社解
すん
から



たの
生
物
か
い

こ
か
ム
だ

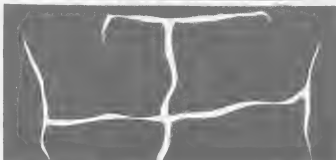


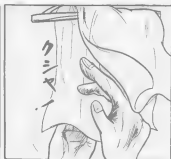
ンホオ

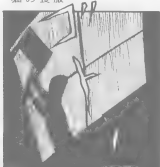
お
マ
ン
だ



お
マ
ン
だ
い
ま
は
お
マ
ン
だ
い
ま
は
お
マ
ン
だ
い
ま
は

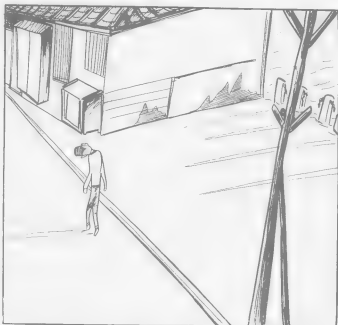


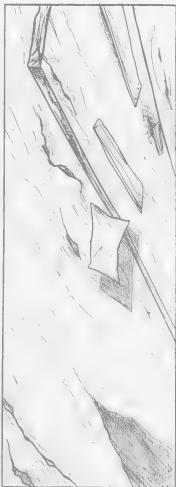
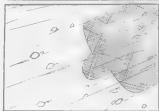


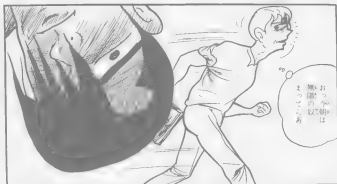


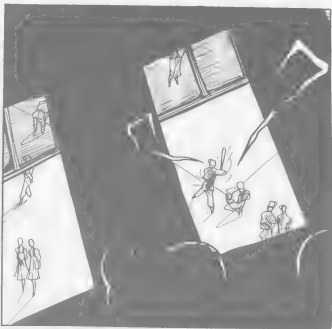
だからホームランはきらい！



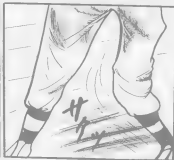
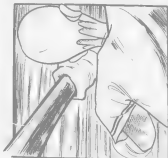
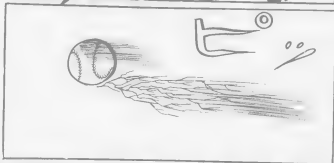




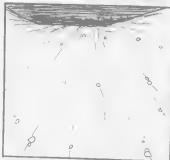


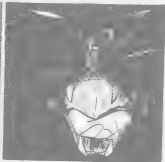
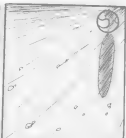




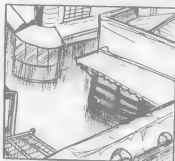
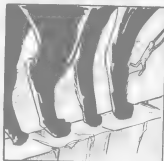










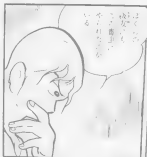


さんげの祈りは墓地の中で

このあいだの
ホームラン事件は
思いやりでも
とする

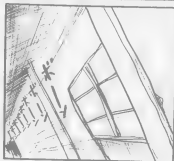
どうしてあんな奇
せきがおこったの
だろう

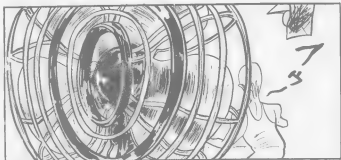
[illegible]











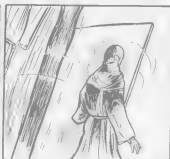


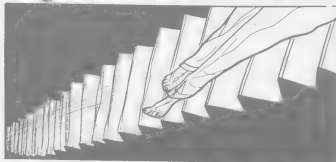








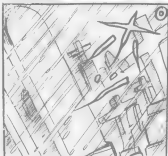


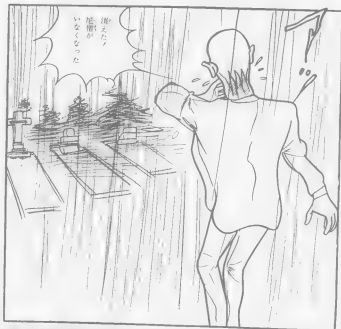






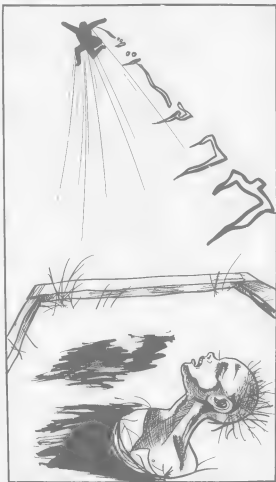






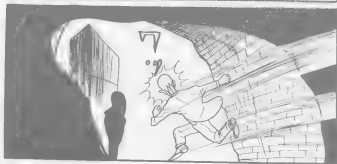
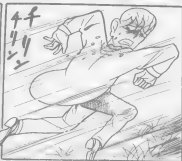


リメンバア
ミイ



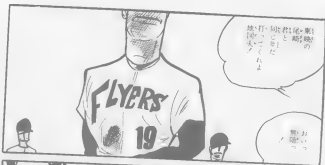


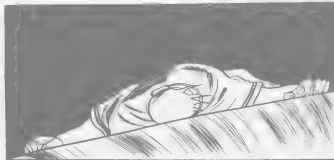
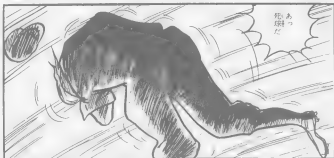




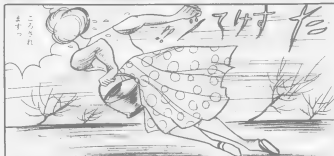






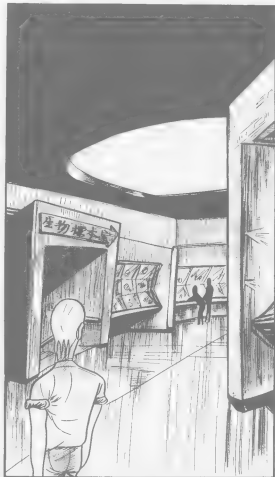




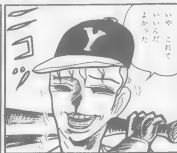
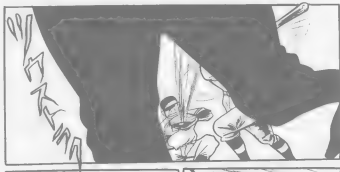




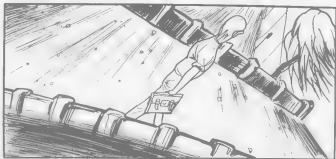
むせび泣く水滴……

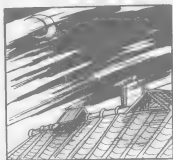


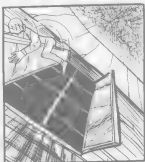




















まともにピカドンの洗礼を
うけたのです



戦争生だった私は
父と人きりで赤十字
から帰ったのですか



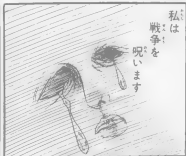
おかされて
いたのです

父は死にまし
た。そして私
も父と一緒に
墓場へ

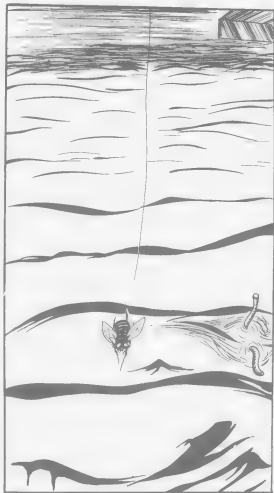


あなたは
再生不良性
貧血を知って
いますか

スッ

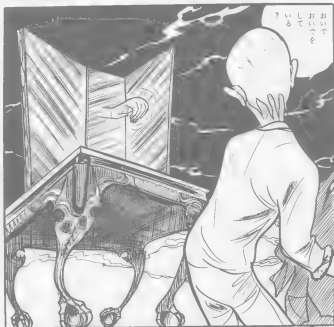


霊安室見学だなんてそんなばかな
れいあんしつけんがく

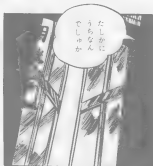




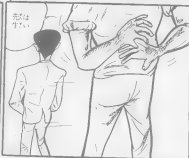
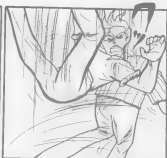








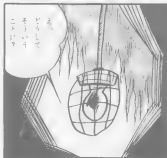
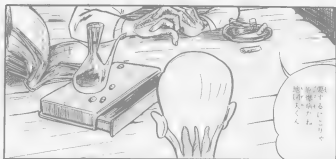






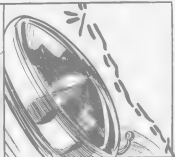
君は……
生んだ……
不良性
貧血とい
う……
のはね……

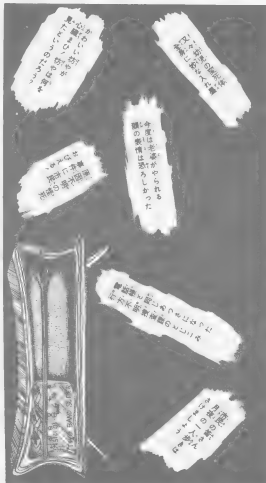




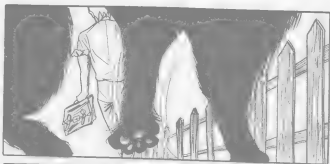
猫の豊服







終りなき恐怖の終結





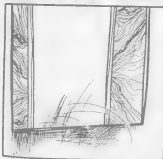
きれいすぎが地獄夫をおしやべりにかえた……

彼は猫にいつてきかせたのである

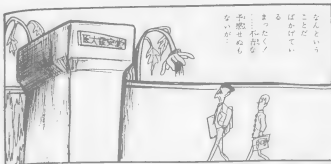
ある日蠅をうつとそいつが奇妙な亡霊となって

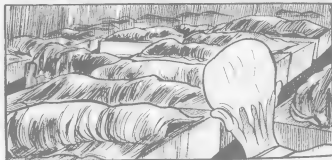
彼に「立ちのけ」とブツブツ小言をいい

ついに亡霊の方が永遠の眠りにつき消えたことを……







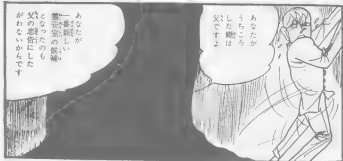






さうの
うの
思は
私で
す

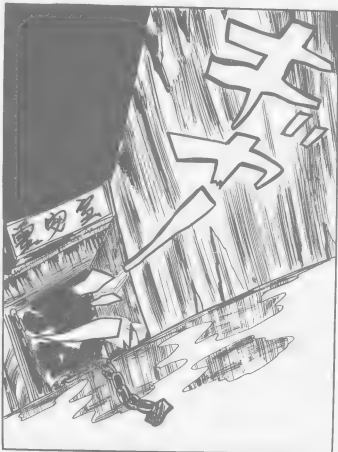
神は吸血鬼となったおに
おにをあたえられたのです
おにがなき父のことを
思いふけるとき
猫に化身することを



あなたが
うらこ
した
父です

あなたが
一番
雪安堂の候補
となったのも
父の忠告に
がわなからです





翌日の三面記事で一人の高校生の変死体が伝えられていたが
毎度のことなので人々は関心をしめさなかったという

終

「人間時計」を出版する 意味とは何か？

竹熊健太郎

正直に告白すると、僕は今、
けてしまったことを、

すること」と言い残して、
かわらず、
の世で生きかきそいつ、

とよく言われる。子供にも人格が備わ
に出た作品は、
、例えば親といえども子と無
いのだと、確かに
を肯定するものこの世

としてカフカ:

ら破綻してしまふ。

ること

いる

こうしてボクが

「人間時計」を紹介した

山崎善美

のインタビュ
の代替えとして

うらたと眺むるに

間違えつつも「喜々レ

コンサート

子能収であり、「タコ」

つ「逸事に引きうけてくれ

「ぬ花輪和」の、がつしりボ

「そんな（かいな）

エだしそうな指先、など、

ところで「HEAVEN」8号でお

徳南晴一郎の「狂詩

あ、徳南サンねえ、羅が十冊くら

だけど、今やどこで手に入るのやら」

いずれにしても、一年もたつてからそん

を知らされたわけだが、息苦しい合わせてみ

もうこれは、

きの 曙出

ぶろ

なし

つく癖が染まなしボクと

「芽生を訊いたり」

「でもムツカシイかも知れませう。今はもう

……ちよつとカクワと

「山版」

げず吻

「願裏には、たとえ

・と独　た

「たより」と　ば手元

意を決し、深呼吸

ああ、そして

もしもし、あの　ヤマザキと申

……

とさなんですわ。月

「人間時計」は リアルな時を刻む 樺木野衣

れる点滅する世界像にある。そし

から
いか

時間感覚などというのはおかしい。なぜ
ン」の中には、はくらが知っているよう
の時間などは流れていないからだ。時間
いるのは、はくらが生きて生活してい
側の世界の方であって、マンガの中で
してそれは、時計によって精密に計るこ

マンガは、物理的には複数の不連続
立った頁を綴じたものであって、
流れているはずの時の流れを計る

ずば
・は

い
ち
る
か

が家が物語に説得力を持たせるために、絵の描き
な時が流れているかのように描く努力をしている

が過ぎ去っても不自然に感じないのは、技術の習
得と、そのような規則にもとづくマンガの読み方
を、はくらが学習しているからにはかならない

を綴じたもので、そこでは時間が流れているの

宙を詠んだと
の、たがいに

いう空間が、現れては消え、消えては現れていく
いることにあるように思う。人々の動きは不自然

したがって、『人間時計』の中でありとあらゆる

ぎない。

うなものなの

つめて探求している作家は、そういうものではな

なこと、ありえるはずがないのだ。

は時間を計ってい

徳南作品を もっと知りたい人へ 宇田川岳夫

徳南晴一郎のマンガ家としての活動は、一九五五年から六三年までの八年間である。この短い期間に彼の作風は四度変化している。それは彼のマンガ家としての苦闘の歴史を物語るものであり、マンガの歴史で言えば貸本劇画の衰退の時期と一致しているし、オリンピックを契機に日本が高度経済成長を上げようとしていた時期とも一致する。

第一期は五五年から五九年まで。大阪の東光堂からデビュー作『あらしの剣』を発表し、その後各社から手塚治虫的な絵柄の時代劇物（例『笑狂四郎捕物控』『三島書店』）を発表した末に曙出版に活動の場を定めるまでの、マンガ家・徳南晴一郎にとって幼年期とも言うべき時期である。この時期の彼の作風は、何の変哲もない児童向け貸本マンガとも言えるものであり、古書味的価値はないと思われるが、化け猫を扱った怪談物（『化猫』シリーズ、曙出版）や作品中の謎を解くうえで獨

が大きな鍵を握っているもの（『笑狂四郎捕物控』）が多く、後年の作品『猿の復讐』への影響を考えるとうえで興味深い。

第二期は六〇年から六一年まで。曙出版の青春劇画アンソロジー『ティーン・エイジャー』などに市川誠一名義で青春マンガ短編を発表した時期である。初期の手塚治虫的な丸いタッチから後年のとげとげしい画風へと変化をきたし、青春マンガとは言うものの読者を減らさるような暗い内容の作品を連発した時期である。例えば『道草』（ティーン・エイジャー）一五号所収はクロスワード・パズルの賞金で生活するオタクな工員の物語であり、『雨の中の素顔』（ティーン・エイジャー）一九号所収は、おもちゃ工場で働く工員がふとしたことから暴徒密造・麻薬密売に巻き込まれる物語であるが、両作品とも工場の機械の描写や主人公の心象風景の描写に後年の作品の特徴がすでに見える。また、主人公が皆不幸な

勤労青年であることや、できそこないのハードボイルド作品のように殺いたないストーリーが読めたあげくに、デウス・エクス・マキナスに理解ある上司や警察が現れてとってつけたような結末を迎える、といった脱力感の横溢した作風は作者の心理の現れなのであろうか、興味はつきない。

第三期は六二年七月から九月まで。一連のシリーズな作品、「化猫の月」「人間時計」「猫の喪服」等を何かにとりつかれたかのように連発した時期である。「化猫の月」は化け猫を題材とした怪奇時代劇であり、既存の貸本劇画の枠組みを抜け出してはいないが、「人間時計」「猫の喪服」は不条理に満ちたストーリー、表現主義的な描写、作者のSF小説に関する当時としては非常に深い造詣がうかがえるなど実験的作品の性格が強い。また予告しか確認されていない作品「破れた顔」もこの系列に属する内容であったと思われる。この時期は、我々徳南ファンにとつてのサマー・オブ・ラブとも言うべき時期であるが、彼にとつてはバッド・トリップの果てのような時期であつたに違いない。

第四期は六二年一〇月から六三年まで。断米庵の様相を表してきた貸本業界の中で生活のために戦国武将物（『豊臣秀吉』）『徳川家康』『織田信長』『伊達正宗』を描くが人気を博することなく、ついにマンガ家を引退して故郷に帰ることを決意する、ナルアウトの時代とも言うべき時期である。彼が引退してから二年後の六五年に劇画ブームが巻き起こり、貸本劇画を活動の舞台にしていた作家たちが目の目を見る時代がやってくる。しかし彼はマンガ家を廃業し、故郷に帰って会社勤め、今までの自分を一新して全く新しい生活を始め、「異能マンガ家」から一市井の「無能の人」と転身をとげ、その後のマンガ業界の発展にも高度成長にもいっさい無縁に生活してきた。その背後の事情については、徳南晴一郎がコメントすることをおそらく拒み続けているので現在も謎のままであるが、彼の見事な転身は、筆者にとって一種の潔さすら感じさせるのである。

（マンガ評論家）

本書は、『人間時評』（曙出版）一九六二年八月初版発行、『森の喪服』（曙出版）一九六二年七月初版発行、を複製・掲載したものです。

復 刻 版

怪談人間時計

一九九六年一月二〇日印刷
一九九七年四月二五日第六刷発行

著者

徳南晴一郎

構成

「人間時計」復刻委員会

編集者

北尾修一
並木智子

発行人

落合美砂

発行所

株式会社太田出版

東京都新宿区荒木町二二エブゴットビル一階
電話〇三・三三三・五九・六二六二

ファクシミリ〇三・三三三・五九・〇〇四〇

振替

〇〇二二〇・六・一六二一六六

通本・装丁

木庭貴信（コズフィッシュ）

印刷・製本

中央精版印刷株式会社

協力者 秋山曜、長尾義弘（土屋書店・蔵出版）、

古川益蔵（まんだらけ）、木間珠城、山崎春美

©Seichio, Tokuma 1996, Printed in Japan

題・著・本は右取り禁えたいします。

本書の無断複写、複製、転載、引用を禁じます。

定価はカバーに表記してあります。

ISBN 4-8723-513-6